



去る六月八日(月)四日市場瀬中・赤坂常会(中村郁也会長)は、長年に渡る菅野川の清掃活動などが認められ環境庁長官から県内では唯一地域環境美化功績団体として表彰されました。

かつて菅野川は、カジカやヤマメの住む川として大人にとって忘れる事の出来ない子供の頃の楽しい思い出の場所でした。昭和四十年代自然破壊が騒がれる頃この川からも魚の姿が消えて行きました。「なんとか昔のようにカジカの住めるような川にしたい。そして、私達が子供の時に遊んだ『ふるさとの川』を子供達に残してやろう」と清掃活動を始めました。

年四回行われる大清掃には、一戸から二人ずつ参加し、河川清掃はもちろんピッコ広場の整備、桜の植樹などを行ってきました。こうした活動を長年続けられてきた原動力の一つとして、会長は「日頃からの、互いに協力し合う気持ち、常会の和合となっていま

## 清掃活動始めて20年

### 瀬中・赤坂常会環境庁長官表彰を受彰

まで活動を続けてこられたと思います。また、自分たちの住む所は自分たちで清掃するという気持ちに皆があつたかだと思います。」

こうした努力が実り最近では、川で魚の姿を見ることが出来るようになりました。また、ゴミ捨場化していた川もきれいになり、ゴミを捨てる人もいなくなりました。しかしこの活動は、瀬中・赤坂常会だけの問題ではありません。この川の上流、下流に住む人達にも同じような意識が必要ではないでしょうか。

美化推進が叫ばれる今日、市民と行政は、暗中模索を繰り返し、町の美化に努めてきました。「自分の家は、自分で掃除します。同じように、自分たちの住むまちは、自分たちできれいにします。行政の力を借りなくてもこのくらいは出来るのです」最後に言った常会長の言葉がとても印象的でした。

環境庁長官表彰を受けられた瀬中・赤坂常会の皆さんご苦労様でした。これからも子供達の為にも頑張ってください。

# 美化

## 美しい環境を求めて

### 美化推進協議会総会開催

去る五月二十九日(金)都留市美化推進協議会は、市役所三階大会議室において、自治会・老人クラブ・婦人会などの各種団体の代表約百四十名が集まり総会を開きました。

市民総参加で街をきれいにし快適な住み良い環境を目指す協議会では、議事に先だち地域の美化推進に積極的に取り組み、他の模範となっている個人五人、団体四組の表彰を行いました。

総会では、昨年行われたかいじ団体の成功で、盛り上がった美化運動、花いっぱい運動

を今後も絶やすこと無く、一層広げると決めました。

#### 昭和六十二年度主要事業

- 毎月第一日曜日は清掃の日の推進
- ゴミを捨てない運動の推進
- ゴミステーション周辺の清潔保持の推進
- 花いっぱい運動の推進
- 河川愛護運動の推進
- 道路を守る運動の推進
- 通学路及び学校周辺の清掃活動の実施